

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

—— 関西支部 ——

● 准員及び学生員のための講演会（後半）

例年、電気四学会関西支部では、平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように、定期講演会を開催しています。

平成24年度の後半分は、下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう、御案内申し上げます。

● 11月20日（火） 13:00～14:30

テーマ：スマートグリッドとスマートコミュニティ その現状と課題

講師：石田文章（関西電力）

会場：大阪産業大学（4号館5階会議室）

TEL〔072〕875-3001

● 12月13日（木） 13:00～14:30

テーマ：電気工学が支える私たちの未来—宇宙から電気を送る—

講師：篠原真毅（京大）

会場：奈良工業高等専門学校（大講義室）

TEL〔0743〕55-6102

● 電気四学会関西支部講演会「高齢者・障がい者の社会参加を支援するライフサポート型ロボット技術、その最新動向と国際標準化」

高齢社会が進む中、社会参加を支援するネットワークを利用したロボットサービスを実現する技術開発が進み、多地点間でサービス連携を実現するためのプラットフォームのα版が公開され、一般に利用できる準備が整いつつあります。そこで、ロボットサービスによる高齢者・障がい者の社会参加を支える技術や、その災害復興への試み等の紹介を行います。奮って御参加下さい。

日時 平成24年12月4日（火） 14:00～17:00

会場 中央電気倶楽部513号室（大阪市北区堂島浜2-1-25, ドージマ地下センター南詰を右側に上がり、右へ約50m, 左側のレンガ造り建物）

講師・題目：

- | | |
|--|--------------|
| (1) 開講の挨拶 | 電子情報通信学会関西支部 |
| (2) 高齢者・障がい者のためのユビキタスネットワークロボット（UNR）技術の最前線 | 萩田紀博（ATR） |
| (3) ロボットサービス間を連携するユビキタスネットワークロボットプラットフォーム | 亀井剛次（ATR） |
| (4) コミュニケーションロボットによるコミュニティ形成と災害復興支援 | 山口智治（NEC） |
| (5) ロボットサービスを支える空間台帳とその応用 | 富田仁志（日立） |
| (6) ヘルスケアを支えるネットワークロボットサービス技術の発展 | 土井美和子（東芝） |
| (7) 閉講の挨拶 | 電子情報通信学会関西支部 |

受講料 無料（会員以外の方でも参加できます）

定員 80名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込方法 電子情報通信学会関西支部のHP（<http://www.ieice.org/kansai/>）からお申込み下さい。なお、はがき、FAX、E-mailでも受け付けますので、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先（会社、学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号）を下記の申込先まで御連

絡下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL〔06〕6341-2529, FAX〔06〕6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

—— 本会・ソサイエティ・グループ・

研究専門委員会等主催 ——

● 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 主催

日本技術者教育認定制度（JABEE）審査講習会・受審校向け講習会

日時 2012年12月1日（土） 審査講習 10:00～16:50, 受審校向け講習 17:00～18:30

10:00～16:50の審査講習を受講頂くと、JABEE審査のオブザーバ資格が得られます。

場所 電気学会会議室（千代田区五番町6-2, HOMAT HORIZONビル8F）

募集人員 50名（先着順）

交通手段 <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf> を御参照下さい。

講習費用 10,000円（消費税含む）（審査講習のみ、受審校向け講習のみ受講の場合も同じ）

申込方法 電気学会技術者教育課に電子メールにて11月16日（金）までに以下の各項を御連絡下さい。

- ・所属機関名 ・部署名 ・役職 ・所属学協会名（注. 入会している学協会名は全て記載下さい）
- ・氏名（ふりがな） ・電子メールアドレス ・電話番号
- ・審査員養成講習会への参加経験（参加した年）
- ・質問事項があれば記載のこと

申込電子メール宛先 jabee-office@iee.or.jp

電子メールの題目に「2012年度JABEE審査講習会申込」と記載下さい。

支払方法 当日現金にてお支払い下さい。

問合せ 一般社団法人電気学会技術者教育課（担当：荒井・佐藤）

TEL〔03〕3221-3710, FAX〔03〕3221-3704

E-mail: jabee-office@iee.or.jp

講習内容

- | | | |
|-------------|-----------------------|----------------|
| 9:30～10:00 | 登録・資料確認 | |
| 10:00～10:10 | エンジニアリング教育認定に関する国際的動向 | JABEE事務理事：青島泰之 |
| 10:10～10:15 | 本講習会の位置付けと講習会後の資格 | 講師：佐藤之彦 |
| 10:15～10:50 | 認定制度の考え方と基本方針 | 講師：佐藤之彦 |
| 10:50～11:35 | 認定基準の解説 | 講師：古閑隆章 |
| 11:35～12:20 | 認定・審査の手順と方法 | 講師：長尾雅行 |
| 12:20～13:00 | 昼食・休憩 | |
| 13:00～13:45 | 自己点検書 | 講師：佐渡一広 |
| 13:45～14:30 | プログラム点検書・審査報告書 | 講師：埴 雅典 |
| 14:30～15:15 | 審査の手引き（前半） | 講師：甲斐宗徳 |
| 15:15～15:25 | 休憩 | |

15:25~15:55 審査の手引き (後半) 講師:小西博雄
 15:55~16:10 審査チームの構成と倫理規定 講師:小西博雄
 16:10~16:50 認定・審査に関する質疑応答 司会:相知政司
 16:50~17:00 休憩
 17:00~17:45 受審に関する留意点 講師:藤田英明
 17:45~18:30 受審に関する質疑応答 司会:吉田明正
 18:30 解散
 注)都合によりスケジュールが変更となる場合がありますので
 御了承下さい。

●MWE 2012 (2012 Microwave Workshops and Exhibition)

日本産業新生—ここに生きてるマイクロ波技術—

[マイクロウェーブワークショップ]

日 時 平成 24 年 11 月 28 日 (水) 10:50~16:50
 29 日 (木) 10:40~16:50
 30 日 (金) 10:40~16:50

会 場 パシフィコ横浜展示ホール D (横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料

ワークショップダイジェスト代:一般:5,000 円, 学生:2,000 円

事前登録不要. 来場時に会場受付にて御登録下さい.

プログラムの詳細は <http://www.apmc-mwe.org/> で御確認下さい.

11 月 28 日 (水) [午前]

- (1) 開会式セレモニー
- (2) 基調講演「遥かなるデジタルの海を越えて—未来ある若手エンジニアに捧げるバラード—」

山川 烈 (フジシステム研)

[午後]

- (3) 基礎講座「無線通信で使われるデジタル信号処理技術—RF サンプリング技術の基礎—」

荒木純道 (東工大)・森下陽平 (パナソニック)・村口正弘 (東京理科大)

ワークショップ:「無線電力伝送—ビジネス:現状と将来展望—」,「安全・安心な社会のための新しい衛星通信技術とそれを支えるデバイス—地上衛星共用携帯電話システムの研究開発—」,「周波数高度利用技術の最新動向—新たな無線サービスに向けたホワイトスペース有効利用技術—」,「高周波回路設計のための基板材料評価技術」

11 月 29 日 (木) [午前]

- (1) パネルセッション:「新分野へ羽ばたくマイクロ波—期待と要望—」

ワークショップ:「Si 集積回路における電圧制御発振器 (VCO) 技術の歴史と動向」,「平面回路設計の諸問題」

[午後]

- (2) 基礎講座「マイクロ波トランジスタの基礎」

大野泰夫 (徳島大)

ワークショップ:「高周波回路設計における回路の小型化, 広帯域化」,「高周波設計におけるシミュレータ活用の勘所 I, II」,「電気学会「革新的電磁波利用技術とその応用展開」調査専門委員会協賛特別企画: Smart City

Workshop 2012 in Singapore 報告]

[ワークショップ終了後]

- (3) IEEE MTT-S Japan Young Engineer Award 授与式
11 月 30 日 (金) [午前]

- (1) 基礎講座「無線機器設計の基礎」

田中 聡 (村田製作所)・伊東健治 (金沢工大)

ワークショップ:「高出力増幅器の最新設計法—X パラメータによる設計技術—」,「実製品に活かすアンテナ設計技術」

[午後]

- (2) 基礎講座「続・無線通信方式の基礎」

久保田周治 (芝浦工大)

ワークショップ:「ベクトルネットワーク測定の落とし穴」,「電力・情報通信融合時代の通信技術—PLC と Smart Meter が開く有線無線融合技術—」,「展示委員会連携企画:ここまで出来る!! 最新ネットアナリレーション」,「次世代トランジスタ動向」

[マイクロウェーブ展 2012]

日 時:平成 24 年 11 月 29 日 (水), 30 日 (金) 10:00~17:30 (最終日のみ 17:00 終了)

会 場:パシフィコ横浜 展示ホール D (横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料/事前登録不要. 来場時に会場受付にて御登録下さい.

各種高周波・マイクロ波関連製品 (材料・基板, 半導体素子・部品, 通信装置・コンポーネント, 測定装置・加工装置, ソフトウェア・シミュレータ, エンジニアリング・製造受託等) の展示, マイクロ波電磁界シミュレータの変遷の特別企画展示, マイクロ波の歴史展示, 大学・高等専門学校における研究活動や産学連携への取り組みなどを紹介する大学展示も併設. 出展社による出展企業セミナーと特別企画セミナーも展示会場内にて同時開催.

問合せ先 MWE 2012 事務局 (リアルコミュニケーションズ内)

TEL [047] 309-3616, FAX [047] 309-3617

mweapmc@io.ocn.ne.jp

<http://www.apmc-mwe.org/>

主 催 電子情報通信学会 APMC 国内委員会

後 援 総務省

協 賛 電子情報通信学会; マイクロ波研究専門委員会/エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会, IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter, 日本電磁波エネルギー応用学会, エレクトロニクス実装学会, 電気学会「革新的電磁波利用技術とその応用展開」調査専門委員会

——HCG シンポジウム 2012

~新たな流れを作り出すパワーを~

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) では, HCG シンポジウム 2012 を熊本にて開催致します. 本シンポジウムでは, 口頭発表に加えて深く議論するためのデモやポスターによるインタラクティブ発表もご紹介します. 多くの方に御発表, 御議論頂くことで, 「人を中心に据えた」情報通信技術の新たな研究のシーズを生み出す場, これからの時代の流れを新たに作り出すパワーを生み出す場となるのが本シンポジウムの目標です. 皆様, 奮って御参加下さい.

招待講演には、京都大学霊長類研究所の友永雅己先生に「海の
ところ、森のところ—ところの起源に迫る比較認知科学—」と題
して御講演頂きます。更に、ヒューマンコミュニケーション基礎
研究会 (HCS 研究会)、マルチメディア・仮想環境基礎研究会
(MVE 研究会)、未来世代から見たコミュニケーション科学の魅
力と学習意欲向上研究会 (CML 研究会) による研究会企画セッ
ションを予定しており、活発な議論が行われると期待しており
ます。HCG は、フィールドやアプローチを異にする多彩なコミュ
ニティとの連携により新しいことを生み出す場となることを目標
としております。幅広い分野からの多数の参加をお待ちしており
ます。

HCG 運営委員長 武川直樹 (東京電機大)

実行委員長 黒岩真吾 (千葉大)

副実行委員長 湯浅将英 (東京電機大)、
大塚真吾 (神奈川工大)

日 時 平成 24 年 12 月 10 日 (月) 9:40~19:00

12 月 11 日 (火) 9:10~19:00

12 月 12 日 (水) 9:30~14:45

会 場 くまもと森都心プラザ (熊本市)

HCG シンポジウム 2012 ホームページ

<http://2012.hcg-symposium.org/>

参加費 (予定) (CD-ROM 論文集代込み) (※事前申込締切:
11 月 23 日 (金))

一般: [事前申込] 6,000 円, [当日] 7,000 円

学生: [事前申込] 3,000 円, [当日] 4,000 円

懇親会 12 月 11 日 (火) 19:00~

懇親会費 (予定) (※事前申込締切: 11 月 23 日 (金))

一般: [事前申込] 4,000 円, [当日] 5,000 円

学生: [事前申込] 無料, [当日] 5,000 円

ヒューマンコミュニケーション賞の授賞式も行います。

【情報保障の御案内】

情報保障につきましては準備の都合がございますので事前にお
申込み下さい。PC 要約筆記及び手話通訳については 11 月 12 日
(月) までに聴講を希望される発表を具体的にお知らせ下さい。
インタラクティブ発表、招待講演、懇親会などの全体行事につき
ましても、可能な限り対応させていただきますので、参加の御予定を
事前にお知らせ下さい。特に点字資料 (全体プログラム) を御希
望の方はお早めにお知らせ下さい。なお、論文集は PDF (電子
データ) で配付します。その他、車椅子での御参加など、お手伝
いが必要な方は、事前にお知らせ下さい。

情報保障に関するお問合せ contact@hcg-symposium.org

■招待講演、研究会企画セッション

招待講演 12 月 10 日 (月) 16:00~

「海のところ、森のところ

—ところの起源に迫る比較認知科学— 友永雅己 (京大)

研究会企画セッション

●HCS 研究会 (ヒューマンコミュニケーション基礎第一種研究
会)

12 月 10 日 (月) 17:00~

企画タイトル「コミュニケーションの進化と未来: 霊長類から
ジェミノイドまで」

ジェミノイド研究の小川浩平氏 (阪大)、コミュニケーション
ロボットを用いたユニークな取組みで知られる高橋英之氏 (玉川
大) の 2 名が人-モノのコミュニケーションに関する研究を紹介
します。更にディスカッサントとして、京都大学霊長類研究所の
友永雅己氏、及び心理臨床面接や作業療法におけるコミュニケー

ション研究を行っている長岡千賀氏 (京大) が参加し、情報コ
ミュニケーションシステムの将来像を議論します。

●MVE 研究会 (マルチメディア・仮想環境基礎第一種研究会)

12 月 11 日 (火) 13:30~

企画タイトル「マルチスクリーン連携技術の現状と未来」

スマートフォン、タブレット、スマートテレビ、デジタルサ
イネージ等、我々の生活空間にはスクリーンを備えた端末が多数
普及しています。この現状を踏まえて、マルチスクリーン連携技
術の現状と未来を議論します。(苗村健氏 (東大)、有安香子氏
(NHK)、瀬古俊一氏 (NTT)、山口 郎氏 (OKI) らの講演を予
定)

●CML 研究会 (未来世代から見たコミュニケーション科学の魅
力と学習意欲向上第三種研究会) 12 月 12 日 (水) 13:00~

企画タイトル「未来世代に学ぶ—被災地の高校生との交流を通
じて学んだこと、それを学会の未来につなぐ」

CML 研究会のこれまでの活動報告と基調講演を行います。引
き続き、パネリスト (小粥幹夫氏、持田侑宏氏、日比野雅夫氏、
他) と参加者らとともに CML の今後の活動について広く意見を
求め討論します。

■プログラム (最新の情報は HP <http://2012.hcg-symposium.org/> を御確認下さい)

●12 月 10 日 (月) 受付 (9:30~)

オープニング (9:45~9:50)

午前 目と認知 (9:50~11:30)

(I-1-1) 電動車椅子乗車時を想定した眼球運動による眼電位変化
の解析 ○中西正樹・満倉靖恵 (慶大)

(I-1-2) 異なる視覚情報処理レベルにおける跳躍眼球運動前後の
刺激変化閾値の違い ○伊波 慧・金子寛彦 (東工大)

(I-1-3) 異なる印象判断時の顔画像観察における眼球運動比較—
停留点と停留時間の分析— ○丸山阿弓・松山 歩・

中村夏子・稲葉善典・伊師華江 (仙台高専)・

行場次朗 (東北大)・赤松 茂 (法政大)

(I-1-4) 映像視聴時における視聴者の瞳孔と基礎律動情報の関係
分析に関する一検討 ○川村愛莉・菅沼 睦・

亀山 涉 (早大)

午前 対話インタフェース (9:50~11:30)

(II-1-1) 共同注視状況における複数人物頭部カメラの位置姿勢
推定 ○高瀬恵三郎・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)

(II-1-2) ユーザをほめるコンピューターコンピュータのメッ
セージがユーザの感情と行動に与える効果—

○三浦郷史・入戸野 宏 (広島大)

(II-1-3) ゲーミフィケーションを用いた対話エージェントのた
めの学習データ獲得 ○岩田直之 (名大)・

鳥海不二夫 (東大)・平山高嗣・榎堀 優 (名大)・

稲葉通将 (広島市大)・間瀬健二 (名大)

(II-1-4) 音源方向を提示する腕装着型機器の開発と複数人対話
支援への応用 ○金子佳裕 (筑波大)・

鈴木健嗣 (筑波大/JST)

午前 障がい者支援 (9:50~11:30)

(III-1-1) 認知症の人を支援する経験拡張行動シミュレータの実
現に向けて ○藤田真浩・長尾貴正 (静岡大)・

上野秀樹 (海上療養所)・石川翔吾・竹林洋一 (静岡大)

(III-1-2) 臨床療養現場における中途視覚障害者向け電子カルテ
の開発 ○中村圭佑・鈴木香奈江・江崎修史・

伊藤和之 (国立障害者リハビリテーションセンター)

(III-1-3) 聴覚障害者の講義受講支援のための卓上投影映像によ

る情報保障の検討 ○若月大輔・内藤一郎(筑波技術大)・塩野目剛亮(東北大)・河野純大・加藤伸子・西岡知之・皆川洋喜・村上裕史(筑波技術大)

(III-1-4) 画像処理による口文字盤の読み取り支援の提案
伊藤史人(一橋大)

午後 タッチインタフェース(12:45~14:25)

(I-2-1) スマートフォンにおけるゲームパッドを意識したキー操作の分析
○山田健一郎・野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

(I-2-2) 運動障害者のタッチパネル操作解析
○岩崎 優・廣富哲也(島根大)

(I-2-3) 手の形状を識別するマルチタッチテーブルでのインタラクションデザイン
○竹内拓馬・前田義信・宮川道夫(新潟大)

(I-2-4) タッチ動作時の行動的特徴量を用いたリズム認証手法
○野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

午後 サービスとアニメーション(12:45~14:25)

(II-2-1) 環境に基づくユーザエクスペリエンスデザイン
○大野健彦・中谷桃子・片桐有理佳(NTT)

(II-2-2) 例文モーションの編集・合成による手話アニメーションの生成
○井上誠喜・金子浩之・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行(NHK)・長嶋祐二(工学院大)

(II-2-3) ユーザニーズに合致した新規サービスのデザイン—日本とデンマークにおけるデザインワークショップ実践事例—
○中谷桃子(NTT)・安岡美佳(IT Univ. of Copenhagen)・大野健彦(NTT)

午後 コンピュータビジョン(12:45~14:25)

(III-2-1) 対象物の多重スリット表現による環境カメラ観測での人物存在の可視化
○中野一成・亀田能成・大田友一(筑波大)

(III-2-2) 多重化隠蔽タグ技術 UbiCode を使ったデジタルサイネージのインタラクティブ化によるコミュニケーション支援
○岩橋翔仁・小出雄空明・大塚真吾・白井暁彦(神奈川工大)

(III-2-3) 周辺環境を考慮したカラー手袋による手指形状の認識実験とその評価
○菅谷隆浩・加藤正樹・鈴木孝幸・西村広光・田中 博(神奈川工大)

(III-2-4) 人の視界を表示するウォークスルーシステム
○渡邊俊哉・渋沢 進(茨城大)

午後 レコメンデーション(14:30~15:45)

(I-3-1) 実空間とネットワークを活用した相互協力・支援環境の実現
○許 又双・村瀬結衣・杉浦一徳(慶大)

(I-3-2) 利用者のプロフィールを用いた個性を考慮した楽曲の印象推定
○岩月靖典・酒向慎司・北村 正(名工大)

(I-3-3) インテントの時系列変化を考慮したボランティアマッチング支援手法
○片岡泰之・瀬古俊一・青木良輔・橋本 遼・井原雅行・渡辺昌洋・渡部智樹・小林 透(NTT)

午後 視覚情報(14:30~15:45)

(II-3-1) マルチタッチスクリーンを用いた視覚障がい者向け文字入力方式
○青木良輔・瀬古俊一・橋本 遼・片岡泰之・井原雅行・渡辺昌洋・小林 透(NTT)

(II-3-2) 指先カメラを用いた視覚障害者のためのタッチパネル操作支援システムにおけるカラーバーコード認識処理の検討
○山脇 彰・芹川聖一(九工大)

(II-3-3) コンピュータ操作を視覚化する支援ツール SZ KIT の効果—聴覚障害学生の授業理解度を通じた評価—
○鈴木拓弥・若月大輔・小林 真(筑波技術大)

午後 集団行動(14:30~15:45)

(III-3-1) 集団行動解析のための歩容意図コーパス
○波部 斉(近畿大)・木戸出正継(近畿大/奈良先端大)・鷺見和彦(青学大)・八木康史・満上育久・梶原光平(阪大)・青木菜々美(青学大)・園部信隆(近畿大)

(III-3-2) 協調作業における社会的スキルの重要性—ネットワークのトラブルシューティングを題材として—
○高山千尋・大野健彦(NTT)

(III-3-3) 人工物演劇プロジェクト
○安藤敏彦・松山 薫・鈴木静香(仙台高専)

午後 招待講演(16:00~17:00)
「海のこころ, 森のこころ—こころの起源に迫る比較認知科学—」
友永雅己(京大)

午後 企画セッション(17:00~19:00)
[研究会企画セッション](HCS研究会)
「コミュニケーションの進化と未来: 霊長類からジェミノイドまで」
●12月11日(火) 受付(9:00~)

午前 ヒューマンセンシング(9:10~10:50)

(I-4-1) 慣性センサ内蔵端末と超音波センサを用いた屋内測位プラットフォームの基本検討
○秋山征己・白井宏幸・屋良朝克・鷹野孝典・五百歳重典・田中 博(神奈川工大)

(I-4-2) 筋電位計測と Kinect センサによる3次元姿勢計測を用いたリハビリ支援システムの設計
○朝倉 僚・近藤一晃・中村裕一(京大)・秋田純一(金沢大)・戸田真志(熊本大)・櫻沢 繁(はこだて未来大)

(I-4-3) ウェアラブル呼吸センシングの研究開発
○施 嫻(神戸大)・川原靖弘(放送大)・片桐祥雅(NICT)・羅 志偉(神戸大)

(I-4-4) イメージセンサを用いたワイヤ式3次元位置計測機構の精度改善に関する一検討
○和久井祐太・村山 淳・平田幸広(諏訪東京理科大)・佐藤 誠(東工大)・原田哲也(東京理科大)

午前 先進的インタラクション(9:10~10:50)

(II-4-1) 赤外線画像認識によりユーザ位置を識別するテーブルトップシステム
○須藤翔太・渋沢 進(茨城大)

(II-4-2) スマートフォンにおけるリズム認証手法の検討
○市村亮太・野口敦弘・納富一宏(神奈川工大)・斎藤恵一(国際医療福祉大)

(II-4-3) Bluetooth を用いた SPIDAR-tablet のための無線力覚フレームの開発
○浜島貴幸(東京理科大)・田村理乃(東工大)・村山 淳(東京理科大)・平田幸広(諏訪東京理科大)・佐藤 誠(東工大)・原田哲也(東京理科大)

(II-4-4) VDT 作業支援システムのためのマウスカーソルの制御方法の検討
○加藤正樹・小堀達也・鈴木孝幸・五百歳重典・田中 博(神奈川工大)

午前 リハビリテーション(9:10~10:50)

(III-4-1) ディスレクシア児のための音韻訓練ソフトの開発
○松山祐希・高丸公斗・上羽一葵・縄手雅彦(島根大)

(III-4-2) ディスレクシア児に対する漢字訓練手法の検討
○上羽一葵・高丸公斗・縄手雅彦(島根大)

(III-4-3) 日本語・漢字を考慮した視覚認知発達検査を用いた,

- 視覚認知に弱さをもつ児童による比較検証
○五十嵐敦志 (工学院大)・築田明教・川端秀仁 (かはら眼科)・長嶋祐二 (工学院大)
- (III-4-4) 食生活ナビゲーションによる高次脳機能障害者の自立支援
○佐野陸夫・宮脇健三郎 (阪工大)・光森洋美・松井元子・大谷貴美子 (京都市立大)・米村俊一 (芝浦工大)・大出道子・廣畑史子 (大阪府立障がい者自立センター)
- 午前 距離画像処理 (11:00~12:15)
- (I-5-1) 距離画像に基づく表情表出時の動態解析
○伊勢崎隆司 (筑波大)・鈴木健嗣 (筑波大/JST)
- (I-5-2) 動作認識のためのカラーとデプス情報を用いた時空間特徴の比較評価
○福岡龍大・川本一彦 (千葉大)
- (I-5-3) 距離画像を用いた動きのある指文字の非接触認識手法の検討
○三宅太一・若月大輔・内藤一郎 (筑波技術大)
- 午前 知覚と意図 (11:00~12:15)
- (II-5-1) 観察による意図推定過程の解明
○渡瀬 傑・竹内勇剛 (静岡大)
- (II-5-2) ピッチの回転運動知覚と前後の並進加速運動知覚のための、前庭・体性感覚情報と視覚情報の統合特性
○笠原悠司・金子寛彦 (東工大)
- (II-5-3) 感情移入による和音に対する事象関連電位の変化
○川原靖弘 (放送大)・片桐祥雅 (NICT)
- 午前 Web とデザイン (11:00~12:15)
- (III-5-1) WANTS の実現促進を目的とするライフログの構築—食べ物をはじめとするインタフェース—
○陳 奕親・村瀬結衣・杉浦一徳 (慶大)
- (III-5-2) 課題提出を支援するリマインダの開発—リマインド頻度の変化による反応差の検証—
○谷村 祐・西田滉季・納富一宏 (神奈川工大)
- (III-5-3) ウェブアクセシビリティの配慮度合いに関連するデザイン方法の検討
○渡辺昌洋・橋本 遼・森田敬樹・浅野陽子 (NTT)
- 午後 企画セッション (13:30~15:10)
[研究会企画セッション] (MVE 研究会)
「マルチスクリーン連携技術の現状と未来」
- 午後 脳と音 (13:30~15:10)
- (II-6-1) 脳波解析による味覚の周波数判別手法の提案
○多和田敬介・高山 慧・満倉靖恵 (慶大)
- (II-6-2) 背景音のリズムの規則性とテンポが行動のペースに与える影響
○栗林龍馬・入戸野 宏 (広島大)
- (II-6-3) 認識対象区間を考慮した音声からの印象認識
○内田正洋・篠崎隆宏・堀内靖雄・黒岩眞吾 (千葉大)
- (II-6-4) 黙声認識における重心推移法に基づく差分推移を活用した発声時筋活動変化の抽出手法
○永井秀利・金井田早紀・宮武一志・中村貞吾 (九工大)
- 午後 インタラクティブ発表概要説明 (15:30~16:10)
- 午後 インタラクティブ発表 (ホワイエ) (16:10~18:00)
- (IV-1-1) 精油吸入による除痛の深部脳機能メカニズム
○坊垣友美 (愛知医科大)・片桐祥雅 (NICT)・宇佐美 眞 (神戸大)
- (IV-1-2) ウェアラブルマルチチャンネル EEG システムによる運動機能評価とその臨床応用
○片桐祥雅 (NICT)・植谷欣也・川又敏男 (神戸大)
- (IV-1-3) クラウド型ウェアラブル EEG/ECG モニタリングによるヘルスケアネットワーク
片桐祥雅 (NICT)
- (IV-1-4) アノテーションされた会話映像を用いた人の振舞いとコミュニケーション機能の分析
○徳永弘子・武川直樹・木村 敦・湯浅将英 (東京電機大)
- (I-7-3) 複数人対話中の共感/反感についての外部観察者集団による解釈の分布の推定
○熊野史朗・大塚和弘・松田昌史・石井 亮・大和淳司 (NTT)
- (I-7-4) 対話型タブーサーチによる香りの生成手法の改良
○福本 誠・河合啓二 (福岡工大)・井上 誠 (秋田高専)・今井順一 (千葉工大)
- (I-7-5) ポスターセッションの分析のための不特定複数人物の頭部形状と姿勢のオンライン自動推定
○吉本廣雅・中村裕一 (京大)
- (II-3-1) マルチタッチスクリーンを用いた視覚障がい者向け文字入力方式
○青木良輔・瀬古俊一・橋本 遼・片岡泰之・井原雅行・渡辺昌洋・小林 透 (NTT)
- (III-4-4) 食生活ナビゲーションによる高次脳機能障害者の自立支援
○佐野陸夫・宮脇健三郎 (阪工大)・光森洋美・松井元子・大谷貴美子 (京都市立大)・米村俊一 (芝浦工大)・大出道子・廣畑史子 (大阪府立障がい者自立センター)
- (III-7-5) かわいい人工物に関する系統的研究 (第 14 報) —かわいい質感に関する触素材を用いた基礎的検討—
○大倉典子・小松 剛・大澤俊太 (芝浦工大)・坂本真樹 (電通大)
- (IV-2-5) 非直角のトリックを用いた不可能立体の 3 次元モデル作成システム
○杜 紹春・松田浩一 (岩手県立大)
- (IV-2-6) 多数の表情顔の 3D 形状に対する主成分分析に基づいた新規人物の表情生成の試み
○天木稔江・渡邊ちさ・永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-7) 表情表出時の顔 3 次元形状の動的変化を記述する低次元パラメータの妥当性評価—モーションキャプチャから得られる時系列データの主成分分析—
○永田俊介・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-8) 加齢変化の影響を受けやすい顔画像の Gabor 特徴を用いた年齢層推定
○菅田幸希・浅水宏文・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- (IV-2-9) 咽喉マイクロフォンを用いた音波分析に基づく無拘束咳嗽モニタリングシステム
○道幸成久 (阪電通大)・辻村 肇 (阪電通大/介護老人保健施設 ケアセンター蒲生野)・松村雅史 (阪電通大)
- (IV-2-10) 視覚障害者へのタブレット端末の操作方法の教示—全盲者向け講習会を通じて—
○松坂治男・坂尻正次 (筑波技術大)・三浦貴大 (東大)・巽 久行・小野 東 (筑波技術大)
- (IV-2-11) タブレット PC を用いた聴覚障がい者・健聴者間コミュニケーション支援システムの開発
○澤田由貴子・木村 勉 (豊田高専)・神田和幸 (中京大)
- (IV-2-12) 奥行き情報が視覚的注意に与える影響—オブジェクト置き換えマスキング実験を用いて—
○井ノ上桃子・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (IV-2-13) 奥行き情報が視覚的注意に与える影響—高速逐次視覚呈示 (RSVP) 課題を用いて—
○坂元里菜・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (IV-2-14) 医療用手話単語データベースの構築
○渡辺桂子・長嶋祐二 (工学院大)・金子浩之・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・井上誠喜・清水俊宏

- 比留間伸行 (NHK)
- (IV-2-15) レポート提出を確実にするリマインドアプリの開発
○西田滉季・谷村 祐・納富一宏 (神奈川工大)
- (IV-2-16) Twitter を用いたスポーツ試合中のイベント検出に関する検討
○富田大志 (名大)・道満恵介 (中京大)・井手一郎・出口大輔・村瀬 洋 (名大)
- (IV-2-17) 顔の示差性は表情によって変化するのか?—再認識課題を用いた検討—
○高橋 望・山田 寛 (日大)
- (IV-2-18) 発話速度変換システムにおける話者印象を補正する基本周波数制御
○池原仙一・斎藤博人・武川直樹 (東京電機大)
- (I-1-3) 異なる印象判断時の顔画像観察における眼球運動比較—停留点と停留時間の分析—
○丸山阿弓・松山 歩・中村夏子・稲葉善典 (法政大)・伊師華江 (仙台高専)・行場次朗 (東北大)・赤松 茂 (法政大)
- (I-3-1) 実空間とネットワークを活用した相互協力・支援環境の実現
○許 又双・村瀬結衣・杉浦一徳 (慶大)
- (I-4-2) 筋電位計測と kinect センサによる 3 次元姿勢計測を用いたリハビリ支援システムの設計
○朝倉 僚・近藤一晃・中村裕一 (京大)・秋田純一 (金沢大)・戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (はこだて未来大)
- (II-1-1) 共同注視状況における複数人物頭部カメラの位置姿勢推定
○高瀬恵三郎・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)
- (II-1-2) ユーザをほめるコンピューターコンピューターのメッセージがユーザの感情と行動に与える効果—
○三浦郷史・入野 宏 (広島大)
- (II-1-3) ゲーミフィケーションを用いた対話エージェントのための学習データ獲得
○岩田直之 (名大)・鳥海不二夫 (東大)・平山高嗣・榎堀 優 (名大)・稲葉通将 (広島市大)・間瀬健二 (名大)
- (II-5-1) 観察による意図推定過程の解明
○渡瀬 傑・竹内勇剛 (静岡大)
- (II-6-2) 背景音のリズムの規則性とテンポが行動のペースに与える影響
○栗林龍馬・入野 宏 (広島大)
- (III-1-2) 臨床療養現場における中途視覚障害者向け電子カルテの開発
○中村圭佑・鈴木香奈江・江崎修央 (鳥羽商船高専)・伊藤和之 (国立障害者リハビリテーションセンター)
- (III-2-1) 対象物の多重スリット表現による環境カメラ観測での人物存在の可視化
○中野一成・亀田能成・大田友一 (筑波大)
- 午後 懇親会 (19:00~)
- 12月12日(水) 受付 (9:00~)
- 午前 ヒューマンコミュニケーション (9:30~12:00)
- (I-7-1) 広汎性発達障害児の意志受容を支援するコミュニケーションエイド
○廣富哲也・稲村 駿・田中教子 (鳥根大)
- (I-7-2) 意思伝達装置の遠隔支援ネットワーク構築の試み
伊藤史人 (一橋大)
- (I-7-3) 複数人対話中の共感/反感についての外部観察者集団による解釈の分布の推定
○熊野史朗・大塚和弘・松田昌史・石井 亮・大和淳司 (NTT)
- (I-7-4) 対話型タブーサーチによる香りの生成手法の改良
○福本 誠・河合啓二・井上 誠 (秋田高専)・今井順一 (千葉工大)
- (I-7-5) ポスターセッションの分析のための不特定複数人物の頭部形状と姿勢のオンライン自動推定
○吉本廣雅・

- 中村裕一 (京大)
- (I-7-6) 対面コミュニケーションが新奇食物受容に及ぼす効果
○木村 敦 (東京電機大)・酒造正樹 (神奈川大)・武川直樹・佐々木寛紀 (東京電機大)・和田有史 (食総研)
- 午前 ユーザインタフェース (9:30~12:00)
- (II-7-1) 実践から見えたラピッドプロトタイプリングの可能性とその難しさ
○草野孔希・大野健彦・中谷桃子 (NTT)
- (II-7-2) SF 映画からの近未来 UI に関する考察とその効果
○飯尾 淳 (三菱総研)・飯塚重善 (神奈川大)・松原幸行 (キノ)
- (II-7-3) 大型公共ディスプレイ上へのプライベート情報提示方法の検討
○飯塚重善 (神奈川大)・内藤 航・郷 健太郎 (山梨大)
- (II-7-4) PCCS に基づく自動配色調整ツール
○柳田拓人 (静岡大)・岡嶋克典 (横浜国大)・三村秀典 (静岡大)
- (II-7-5) 色覚特性と色の持つ意味を考慮した再配色提案に関する検討
○齋藤晴美・渡辺昌洋・浅野陽子 (NTT)
- (II-7-6) ドライバの意図入力インタフェースと GPS 軌跡からの意図推定手法
○岩井将行・清水和人・瀬崎 薫 (東大)
- 午前 感性 (9:30~12:00)
- (III-7-1) 流暢な発話を実現する深部脳活動
○今井絵美子 (神戸大)・片桐祥雅 (NICT)・川又敏男 (神戸大)
- (III-7-2) 生理心理計測による 3DTV 視聴時の感情状態の評価
○阪本清美・坂下誠司 (パナソニック)・山下久仁子・岡田 明 (阪市大)
- (III-7-3) ポジティブ気分による拡散的創造性の促進
○山田陽平 (名大/産総研)・永井聖剛 (産総研)
- (III-7-4) 表出行動・生理反応を利用した話者の感情表出スタイルの分類
○有本泰子 (科学技術振興機構/理研)・岡ノ谷一夫 (東大/科学技術振興機構/理研)
- (III-7-5) かわいい人工物に関する系統的研究 (第 14 報) —かわいい質感に関する触素材を用いた基礎的検討—
○大倉典子・小松 剛・大澤俊太 (芝浦工大)・坂本真樹 (電通大)
- (III-7-6) 「話されたことば」と「書かれたことば」における日本語の情報伝達
神山みや子 (キャブジョン・ベガス)
- 午後 企画セッション (13:00~14:30)
[研究会企画セッション] (CML 研究会)
「未来世代に学ぶ—被災地の高校生との交流を通じて学んだこと、それを学会の未来につなぐ」
- 午後 表彰・クロージング (14:30~14:45)
- 問合先 contact@hcg-symposium.org
- 主催 ヒューマンコミュニケーショングループ
- 協賛 映像情報メディア学会, 計測自動制御学会, 情報処理学会, 日本顔学会, 日本音響学会, 日本認知科学学会, 日本認知心理学会, 日本バーチャルリアリティ学会, ヒューマンインタフェース学会